

アンケート集計経過 1

総数 43 通

性別	ア 男性 25人 イ 女性 18人
年代	ア 10~20代 0人 イ 30~40代 17人 ウ 50~60代 20人 エ 70代以上 5人 無回答 1人
お住まい	ア 札幌市 37人 (中央区 7人・東区 3人・西区 6人・南区 5人・北区 3人 手稲区 5人豊平区 6人・白石区 3人・清田区 1人) イ 札幌市以外 6人 (石狩市 5人・江別市 1人)
住居形態	ア マンション・アパート 14人 イ 一戸建て 26人 ウ その他 2人 無回答 1人
リフォーム、新築のご予定	ア 有 8人 イ 無 31 無回答 4人

セミナー実施前、実施後回答比較

問 1 . 太陽光発電に興味がありますか？

<セミナー前>	<セミナー後>	<前後差>
1. とてもある 27人	1. とてもある 31人	プラス 4人
2. 少しある 16人	2. 少しある 12人	マイナス 4人
3. それほどない 0人	3. それほどない 0人	
4. 全くない 0人	4. 全くない 0人	

問 2 . 「太陽光発電」と聞いてイメージすることは？（複数回答）

<セミナー前>	<セミナー後>	<前後差>
1. 環境に良い 36人	1. 環境に良い 39人	プラス 3人
2. 値段が高い 25人	2. 値段が高い 27人	プラス 2人
3. 工事が大変そう 10人	3. 工事が大変そう 6人	マイナス 4人
4. 北海道では無理だと思う 4人	4. 北海道では無理だと思う 1人	マイナス 3人

5. その他 4人<セミナー前>

- ・ 新energy
- ・ ほぼ無限資源
- ・ 消費電力の何%ぐらいをまかなえるか
- ・ 北海道こそ日照率が良いので、取り組み易いと思う

5. その他 3人<セミナー後>

- ・ 10年前と比べても進化していると思いました。
- ・ 工事の長期的な信頼性
- ・ 地球環境を守るためにはとてもよい方法だと思うのですが、個々の家庭に入り込むまでには付帯設備も含めるとコスト高になるかな

<他にいただいたコメント>

- 3、工事が大変そうに対して 屋根が平面だから
- 4、北海道では無理だと思うに対して 積雪

問3. ご家庭に太陽光発電設備をつけたいと思いますか？

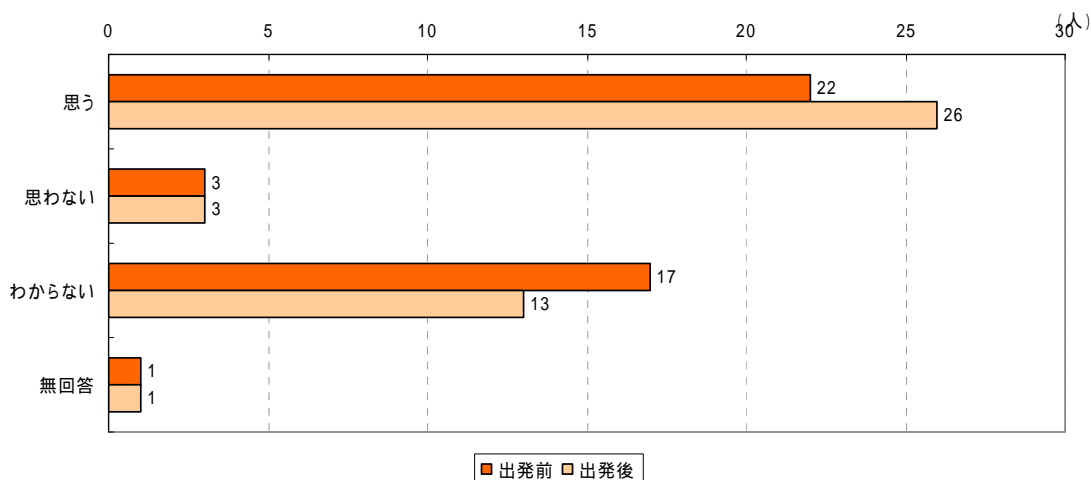
<セミナー前>

<セミナー後>

1. 思う	22人	1. 思う	26人
2. 思わない	3人	2. 思わない	3人
3. わからない	17人	3. わからない	13人
無回答	1人		1人

<前後差>

プラス4人
変化なし
マイナス4人



問4. 問3で「思う」と答えた方、その理由をお聞かせください。

<セミナー前>

- ・ 自分の家で使用する電気を確保するため
- ・ 電気代節約のため
- ・ 部屋が明るくなる
- ・ 環境に良い 6人
- ・ 石油に変わる代替エネルギーが必要だと思います
- ・ 災害時にも心強いと思う
- ・ 通常の電気に依存した生活に抵抗がある
- ・ 光熱費節約のため 2人
- ・ 屋根融雪を考えているので
- ・ ロハス
- ・ 温暖化対策、エネルギー対策につながると思うから
- ・ 環境と費用面で有効と考えます
- ・ 環境を良くすることに貢献できるから 2人
- ・ 長い目でみると光熱費の節約で経済的に感じるから
- ・ 特に冬は灯油代の節約になりそうだから
- ・ 省資源、地球温暖化防止
- ・ 省エネ、環境対策
- ・ 知人宅で体験してそう思いました(帯広)

<セミナー後>

- ・ 既築でも意外と簡単だと思った
- ・ 省エネ、環境 2人
- ・ 地球温暖化を防ぐ
- ・ 環境に優しいし、原子力での電気に不安があるので
- ・ 今回の説明を聞いて、地球のことを考えた時良いと思いました
- ・ 思ったより付け方にもよるが、効率(発電)が良かったので
- ・ 環境に良いし、光熱費の節約もできるから
- ・ 地球環境 4人
- ・ 自然にあるエネルギーを少しでも利用したいと思うから
- ・ 環境と電気料金 2人
- ・ 環境に優しい、ただし価格の問題?
- ・ ロハス
- ・ 面白い

- ・ 現在 1.2 Kw 付けてます
- ・ 現在プリウスに乗ってます。住まいにも環境にも良い工夫が出来たらと思っています
- ・ クリーン
- ・ 部屋が全体的に明るくなる
- ・ 自分の家で使用する電気を確保するため

<他にいただいたコメント>

わからないと回答した方で

- ・ マンション住まいなのでスペース的に無理なのは・ ・ 大きな窓があるのでうまく利用できると思うのですが・ ・
- ・ もっと知りたい

問5 . 問3で「思う」と答えた方、つけるとするとその時期は？（複数回答ありました）

<セミナー前>	<セミナー後>	<前後差>
1 . すぐにでもつけたい	0 人	1 . すぐにでもつけたい 1 人 プラス 1 人
2 . リフォームの機会があれば	8 人	2 . リフォームの機会があれば 13 人 プラス 5 人
3 . 新築の機会があれば	6 人	3 . 新築の機会があれば 8 人 プラス 2 人
4 . その他	8 人	4 . その他 4 人
無回答 21 人	無回答 17 人	

<その他でいただいたコメント>

セミナー前

- ・ 値段や工事費がとて安くなったら 2 人
- ・ 自家小発電
- ・ 検討結果
- ・ 今はマンションなので
- ・ まだわかりません
- ・ 居住地が定まれば

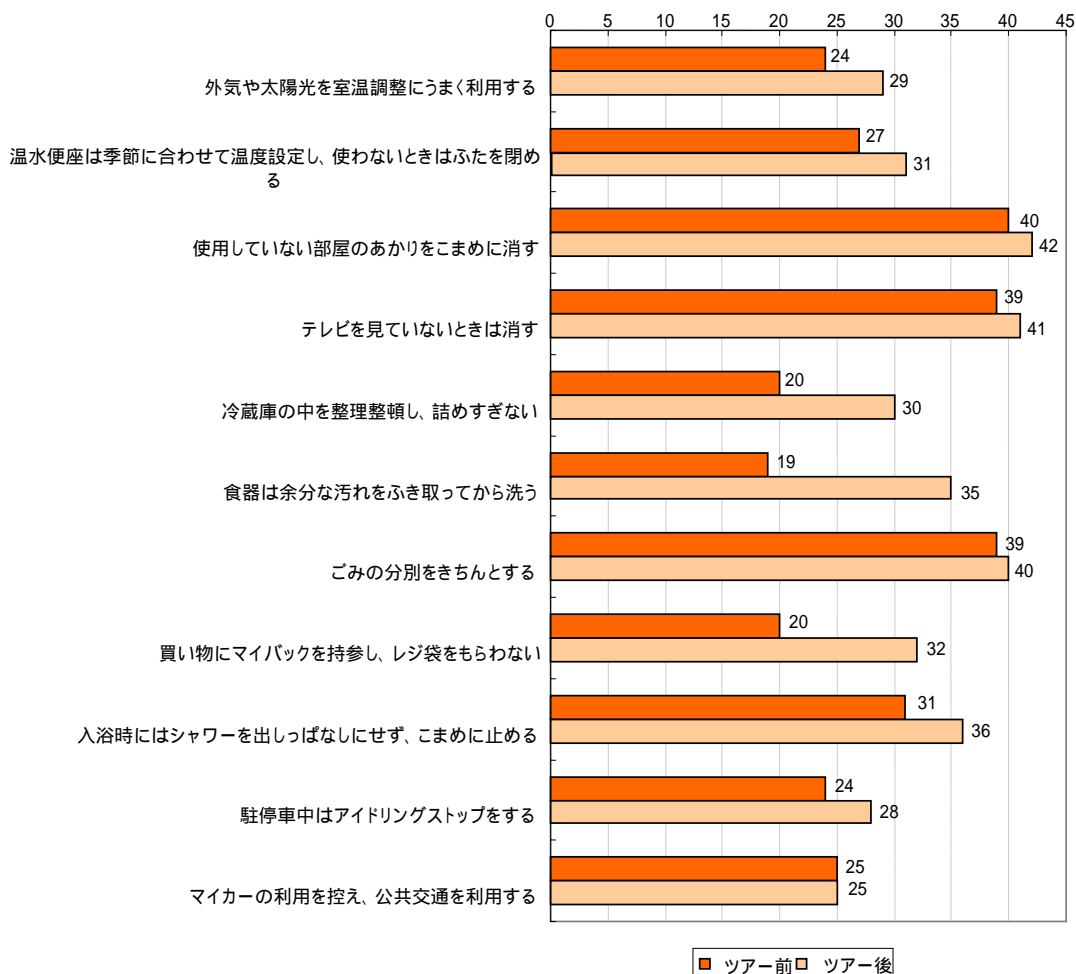
セミナー後

- ・ 屋根が無落雪なので検討の必要あり（屋根以外でも）
- ・ 他のシステム、コージェネなども検討して将来的に
- ・ 増設
- ・ 費用 2 人

問6 . 問3で「思わない」と答えた方、その理由をお聞かせください。

- ・ 賃貸マンションのため
- ・ 日陰になるから
- ・ 事業団宿舎住のため

問7. 地球温暖化防止のために取り組んでいることはありますか？（複数回答）
 < 二酸化炭素削減量のセミナー実施前、セミナー実施後意識変化調査比較 >



1. 外気や太陽光を室温調整にうまく利用する

前：24人 × 18.1Kg = 434.4Kg

後：29人 × 18.1Kg = 524.9Kg

プラス 90.5Kg 削減

< 根拠 > (財) 省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典・2006年12月」P.4

1日1時間灯油暖房の運転を短縮した場合(設定温度20度)

灯油 15.91L × 2.5kg = 39.78Kg

電気 3.89KWh × 0.50Kg = 1.95Kg

(1世帯当たりの数値のため、札幌市平均世帯数 2.3 で割る)

2. 温水便座は季節に合わせて温度設定し、使わないときはふたを閉める

前：27人 × 30.7Kg = 828.9Kg

後：31人 × 30.7Kg = 951.7Kg

プラス 122.8Kg 削減

< 根拠 > (財) 省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典・2006年12月」P.14

設定温度を一段階下げ(中弱)使わない時はふたを閉めた場合

電気 (34.90KWh + 26.40KWh) × 0.50Kg = 30.7Kg

3. 使用していない部屋のあかりをこまめに消す

前：40人 × 9.9Kg = 396Kg

後：42人 × 9.9Kg = 415.8Kg

プラス 19.8 K g 削減

<根拠> 白熱電球 (54W) 1 灯の点灯時間を 1 日 1 時間短縮した場合
電気 $0.054 \text{ KWh} \times 365 \text{ h} \times 0.50 \text{ Kg} = 9.9 \text{ Kg}$

4 . テレビを見ていないときは消す

前 : $39 \text{ 人} \times 15.9 \text{ Kg} = 620.1 \text{ Kg}$

後 : $41 \text{ 人} \times 15.9 \text{ Kg} = 651.9 \text{ Kg}$

プラス 31.8 K g 削減

<根拠> (財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典・2006年12月」P.7
見る時間を 1 日 1 時間短くする (ブラウン管 25 インチ)
電気 $31.86 \text{ KWh} \times 0.50 \text{ Kg} = 15.9 \text{ Kg}$

5 . 冷蔵庫の中を整理整頓し、詰めすぎない

前 : $20 \text{ 人} \times 23.9 \text{ Kg} = 478 \text{ Kg}$

後 : $30 \text{ 人} \times 23.0 \text{ Kg} = 717 \text{ Kg}$

プラス 239 K g 削減

<根拠> (財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典・2006年12月」P.9
定量とその半分を入れた場合の比較
電気 $43.84 \text{ KWh} \times 0.50 \text{ Kg} = 23.9 \text{ Kg}$

6 . 食器は余分な汚れをふき取ってから洗う

前 : $19 \text{ 人} \times 1.9 \text{ Kg} = 36.1 \text{ Kg}$

後 : $35 \text{ 人} \times 1.9 \text{ Kg} = 66.5 \text{ Kg}$

プラス 30.4 K g の削減

<根拠> (財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典・2006年12月」P.14
定量とその半分の量を入れた場合の比較
電気 $43.84 \text{ KWh} \times 0.44 \text{ Kg} = 1.9 \text{ Kg}$

7 . ごみの分別をきちんとする

前 : $39 \text{ 人} \times 9.8 \text{ Kg} = 382.2 \text{ Kg}$

後 : $40 \text{ 人} \times 9.8 \text{ Kg} = 392 \text{ Kg}$

プラス 9.8 K g 削減

<根拠> 1 日 10 グラムのプラスチックを分別してリサイクルに回すと
 $3.65 \text{ Kg} \times 2.69 \text{ Kg} = 9.8 \text{ Kg}$ (温対法係数)

8 . 買い物にマイバックを持参し、レジ袋をもらわない

前 : $20 \text{ 人} \times 2.9 \text{ Kg} = 58 \text{ Kg}$

後 : $32 \text{ 人} \times 2.9 \text{ Kg} = 92.8 \text{ Kg}$

プラス 34.8 K g 削減

<根拠> レジ袋をもらわなかったら (年間 128 枚/人節約)
2006 年レジ袋 138.892 t 1 枚 8.5 g 163.4 億枚 (日本ポレオレフィンフィルム工業組合)
 $163.4 \text{ 億枚} \div 1.27783 \text{ 億人 (H18.12.1)} = 128 \text{ 枚/人}$ (温対法係数)

9 . 入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める

前 : $31 \text{ 人} \times 32.6 \text{ Kg} = 1010.6 \text{ Kg}$

後 : $36 \text{ 人} \times 32.6 \text{ Kg} = 1173.6 \text{ Kg}$

プラス 163 K g 削減

<根拠> (財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典・2006年12月」P.14
シャワー時、給湯器の設定温度 45 度のお湯を流す時間を 1 分間短くすると
ガス $12.78 \text{ m}^3 \times 2.4 \text{ Kg} = 30.67 \text{ Kg}$ 水道 $4.38 \text{ m}^3 \times 0.44 \text{ Kg} = 1.93 \text{ Kg}$

10 . 駐停車中はアイドリングストップをする

前 : $24 \text{ 人} \times 58.8 \text{ Kg} = 1411.2 \text{ Kg}$

後 : $28 \text{ 人} \times 58.8 \text{ Kg} = 1646.4 \text{ Kg}$

プラス 235.2 K g 削減

<根拠> 1日5分間アイドリングをストップすると(2000cc乗用車)
ガソリン $0.07\text{L} \times 365\text{日} \times 2.3\text{Kg} = 58.8\text{Kg}$
エコドライブハンドブック(札幌市)

1.1. マイカーの利用を控え、公共交通を利用する

前: $25\text{人} \times 252\text{Kg} = 6300\text{Kg}$

後: $25\text{人} \times 252\text{Kg} = 6300\text{Kg}$

<根拠> マイカーの利用を1日3Km減らした場合(燃費10Km/L乗用車)
ガソリン $3\text{Km} \div 10\text{Km/L} \times 365\text{/日} \times 2.3\text{Kg} = 252\text{Kg}$

1.2. なにもしていない

前0人 後0人

1.3. その他

リサイクラー使用でごみ減量と堆肥化、有機栽培促進

寒い時は暖房をする前に重ね着をする。

外断熱、ペアガラス、熱交換気

雨水の利用。生ゴミ夏コンポスター冬ダンボールゴミ処理

車にバイオエタノール、ハイブリット車が欲しい(セミナー後)

麦茶を家で作り、職場等に持っていく

マイはし、マイボトルの携帯、生ゴミを出さない

<セミナー実施後>

問8: 今回のツアーに参加していかがでしたか?感想などをお書きください。

北国でも太陽光発電が十分可能なことを知った。(50~60代女性)

太陽光発電の進化がわかり、今後も加速するだろうな、と思いました。ツアー内容や参加者判断からみて、ソーラーカーキット工作は小中高生位までかな?と思います。

(30~40代女性)

楽しかった。(50~60代男性)

地元での取り組みを知ることができました。(30~40代女性)

太陽の力を利用してCO2の排出量を少なくすることが大事だと思います。(30~40代男性)

先駆的な活動、益々の発展を期待しました。(70代以上男性)

良い勉強になりました。(50~60代女性)

普段見学できないところが見れて良かった。(30~40代女性)

ソーラーカー作りが大変でしたが、大成功で楽しかった。ソーラーパネルはただ高いとあきらめていましたが、長い目で見ると元は十分取れて、経済的と思いました。(30~40代女性)

とても良かった。パネル等の見学は今まであったが、価格や設置方法、パネルの進化が分かった。(50~60代女性)

ためになりました。(50~60代男性)

大変勉強になりました。もっと太陽を利用したい。プラモデルを作って太陽で走るのにはびっくり。(70代以上男性)

子どもには難しすぎたと思う。親子参加と書いてあったので(30~40代女性)

太陽光の仕組みや生産の現状が良く分かった。(30~40代男性)

話には聞いていたが、実際の行程、製品、使っている家庭など間近にみて良い経験となりました。(70代以上男性)

太陽光発電に関心があった。(年代記載無し女性)

ソーラーカー作成は意外と難しかったけれど有意義な一日でした。(50~60代女性)
大変興味が持てる内容で良かったです。時間もぴったりで。ただ、山本さんが伊藤組木材の人であることを最初からクリアにしておく方が良いと思います。(30~40代男性)
子どもの参加が多く、将来に期待できる。(50~60代男性)
勉強になりました。この種の機会が多くなると関心も高まると思います。(50~60代男性)
工作は大変でした。太陽光発電の細かいコスト(総合的な)計算を聞いたかった。
(30~40代男性)
とても良かった。(30~40代男性)
他の太陽パネルの価格の紹介があるとわかりやすいと思います。(30~40代男性)
太陽光発電の北海道での活用が理解できました。考えていたより利用可能大。あとはコストのみ。(50~60代男性)
太陽光発電屋根は他のエネルギーより有効に使えることが分かった。(50~60代男性)
最新のシステムを紹介していただけで良かった。丁寧に質問にも答えていただきありがとうございました。(30~40代女性)
大変興味を持って参加しましたが、モデル住宅の見学、キット工作、生産工場の見学と、一日楽しく勉強させていただきました。ご説明も丁寧にさせていただきました。
(50~60代女性)
勉強になりました!!楽しかったです。(30~40代女性)
大変良かったです。(50~60代男性)
石炭、石油、原子力と担当してきて、今は21世紀のエネルギー太陽光を学べて本当に良かったです。(30~40代男性)
とても勉強になりました。戻ってから家族に話したいです。又皆さんに親切にして頂き感謝します。(30~40代女性)
関心を持っていこうと思った。(70代以上男性)
知識向上で良かった。(50~60代男性)
子供向けなのか、大人向けなのかグループ別にはっきり分けたほうが良い。子どもには説明が難しすぎる。(30~40代女性)
興味深く参考になった。ソーラーシステム普及PRの機械を増やして欲しい。
(50~60代男性)
ソーラーカーキット工作がおもしろかった。(50~60代女性)

問9:「太陽光発電」や「地球温暖化防止」のことをもっと広めていくために、どのような工夫があると良いか教えていただけると嬉しいです。

環境負荷の設備等推進のため、固定資産税の減免や環境税を導入し促進策に当てる。
(50~60代女性)
ソーラーパネル設置住宅になにか補助金があるといいですね。(30~40代女性)
コスト・設備一式、100~150万くらいとなれば、もっと採用が増えるでしょう。
(50~60代男性)
児童・生徒を通して広めていく。例えば環境プラザや環境財団を通じて。(30~40代女性)
官・民・地域での活動、学校での教育、コストの削減。(30~40代男性)
日常生活のひとつひとつに心配りが必要。(70代以上男性)

価格の面で足をふんでいる方々が多いと思いますので、良いのはどなたでも分かっているので、価格が下がれば広まると思います。ソーラーキットを小間切れで家庭でも使えるようになるといいナと思います。外灯、足元灯など。(50~60代女性)

今回子どもに誘われ参加させていただいたが、学校などでも多くの子どもたちにもぜひ見てもらいたい。(30~40代女性)

今回のような見学会を自由参加ではなく、学校などでもっと子どもたちやPTAの親たちにも見てもらえたら、温暖化を考え、自分が今すべきことを考えるきっかけに成るのではないのでしょうか。自由参加ですと特に大人は参加しない方が多いので、今回のような見学会を学校単位でというのも良いかと思いました。(30~40代女性)

ドイツのように幼稚園、小学校からの教育が必要。拝金主義脱却。(50~60代女性)

地域のお勉強会。集合住宅に働きかけ。(50~60代男性)

一人一人が何かに協力して欲しい。(70代以上男性)

学校での環境学習と公共施設でもっと導入すべきだ。(30~40代男性)

このような現場見学会を数多くやってもらいたい。又講演会などの行事も開いて欲しい。(70代以上男性)

体験できることが良いと思います。(年代記載無し女性)

広報をきちんとやっていくしかないと思います。お金も時間も人もかけて。(30~40代男性)

子どもに対応。本知話をいかに伝えるか。例：アウトドアの際とか。(50~60代男性)

私の家はフラット屋根なので、単に傾斜型のものではなく、直接屋根に置くタイプで、しかも効率の良いものがあれば良いと思います。(50~60代男性)

できることから行動に移すようなこのようなシカケを地道にやっていくこと。マスコミに関わってもらおう。(30~40代男性)

灯油などの比較で費用や耐久性でよいことも悪いことも含めてオープンにしていく。特にデメリットも公表し、対応策・改善策も述べていく。考えてもらうことが、環境へのモチベーション。(50~60代男性)

住宅の展示場でもっとアピール。工事のための補助金の整備。自宅の屋根等高コストの発電以外の用途はどうなのでしょう？小規模発電にもメリットがあるようならそういう所から普及・アピールしては？(30~40代女性)

今日のイベントを出前講座する。モデルルーム。(30~40代女性)

いろいろあると思いますが、まずは価格が下がればと思います。(70代以上男性)

10月1日「HOP」という団体を発足させます。あらためて「ひまわり」と伊藤組さんにご挨拶に伺います。今日は本当にありがとうございました。みなさん、お疲れ様でした(私は疲れを知りません^^)(30~40代男性)

未来を背負う子供たちの為にも、こういったイベントを増やしたり知らせてくださると良いと思います。今なにが出来るのか知り、始めていく事が大切に感じます。そして北海道にもこんな素晴らしい太陽パネルの工場があり、とても嬉しく思いました。これからのますますの活躍を期待します。ありがとうございました。(30~40代女性)

PR機会を多くする。ソーラーシステム特区を設け税制優遇等、促進を働きかける。(50~60代男性)